

核内カスケードモデルの拡張と弾性外反応への応用

中野, 正博

<https://hdl.handle.net/2324/4060159>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学) , 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)



氏 名	中野正博			
論 文 名	核内カスケードモデルの拡張と弾性外反応への応用			
論文調査委員	主 査	九州大学	准教授	魚住 裕介
	副 査	九州大学	准教授	前畑 京介
	副 査	九州大学	准教授	井手口 忠光
	副 査	九州大学	教授	後藤 雅宏

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、中性子および陽子入射弾性外反応断面積の系統式を改良するため、原子核反応を微視的に記述する核内カスケードモデルに着目してこれを大きく発展させ、弾性外反応を支配する物理過程を明らかにした上で、高精度の系統式を新しく構築しているものであり、得られた成果は原子核工学上寄与するところが大きい。よって価値ある業績であると認める。